

● ● ● 前回研究会における議論(1/2)

地域活性化の前提として、地域に仕事を作り、お金が得られるビジネスの仕組みを構築することが重要。お金を生み出すことが、高齢者の生きがいづくりや健康福祉にも寄与する。

地域活性化の手段としてICTは有用なもの。特に「個」の単位に注目し、「個人が競い合う環境を構築し、ひいては事業へのモチベーションを高める」手段としてICTを活用していくことが重要である。

● ● ● 前回研究会における議論(2/2)

地域活性化に必要な人材を当該地域内で賄うことには限界。ICTの導入を支援する人材等、地域活性化をサポートする優秀な人材は、外部に求めることが必要である。

魅力ある商品を生み出しても「地産地消」にこだわった場合、市場の規模には限界がある。過疎地域であれば市場の縮小が進むため、なおさら状況は厳しい。「いつでも、どこでも、誰とでもつながる」ICTの特性を活用して、市場に広くアプローチすることが重要である。必要に応じて、国外の市場にも目を向け、進出していくことも選択肢とすべきである。